

# 陽の里

発行 平成31年4月1日



社会福祉法人 新生会  
総合ケアセンター サンビレッジ  
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1501番地  
TEL (0585) 45-5545(代)  
URL http://www.sun-village.jp/

No.139

テーマ 「壁を超える」

前列  
太田 誉常務理事  
今村理事長  
石原名譽理事長  
後列  
桑原常務理事  
川瀬常務理事  
今村専務理事  
玉城常務理事



「壁を超える」

今年度、職員のスローガンとして「壁を超える」という言葉を掲げました。

人における壁は大きく二種類あります。一つは自分に対する壁です。等身大の自分をしっかりと把握し、次なる目標へのステップとして、何を乗り越えなければならなかしつかり見極めなければなりません。しかし、この壁はとても甘えが利くことに注意をする必要があります。この壁を乗り越えることを意識し、他者に宣言するといった外部に明白に意思表示を行うことで、甘えからの脱却をすることが可能になります。二つ目は他者との間にできる壁です。多職種の連携を妨げる要因の一つで、これも壁を作る原因是自分自身にあります。自分の役割を常に一定に考えていないでしょうか。ともに働く仲間が変われば、その日の役割も変わります。お互いがつくったそれぞれの壁に隙間ができるでいいですか？これら二つの壁を乗り越えるには、いつものごとく当たり前の意識からの脱却が必要になります。答えは一つでいいのか？三つ考えられたから十分か？いつもの自分から一歩踏み出せる勇気を、この一年は意識して持つてみてはいかがでしょうか。きっといつもの場所が違った景色に見えることでしょう。



社会福祉法人 新生会  
理事長 今 村  
寧

# 眠りスキャンプロジェクト

サンビレッジ瑞穂4F NSPメンバー 小野沢 達也

皆さんは「眠りスキャン」というICT機器をご存じでしょうか?

「眠りスキャン」とは、ベッド上の利用者の様子を体動（寝返り・呼吸・心拍等）から感知し、パソコンのモニターで確認することができます。サンビレッジ瑞穂では、重度の利用者が増え、業務を増やすことなく安全確保をするため、特養全床に、夜間の利用者の安眠、夜勤を担う職員の不安・負担軽減で導入しました。

介護分野では、様々な介護口ボットやICT機器が開発されています。しかし、機器の導入は利便性の向上とともに、個々に合わせた使用方法が求められることも多く、使い勝手等で利用者・職員双方の負担に繋がる可能性もあり、導入が進んでいかない現状があります。

そこで私たちは、「眠りスキャン」が現場に定着するよう各フローーから1名ずつメンバーを募り、眠りスキャンプロジェクト（N



▲インカムでデイセンターと浴槽との情報交換

SP）を立ち上げ、導入支援を実践しました。導入の目的をメンバーで話し合い、職員が少なくなる「夜間帯の安否確認」への導入とし、使用をスタートすることとなりました。メンバーよりフロアーバーで話すことで、職員へ目的・使用方法を伝達、現場での不安をメンバーで共有し解消、導入目的を再確認しながら現場への定着を進めていました。

機器は使う側によって利便性が変化します。今後、高齢者の増加、担い手の減少が進む中、ICTの活用は、利用者の生活の向上、介護職員の業務負担軽減のためには、必要不可欠だと思います。私たちが安心して受けられる介護の未来の為にも、ICT機器などのツールを用いて、利用者に合った介護の提案を目指していきます。

# インカムの活用

インカム導入により業務の効率化に繋がった

デイサービスセンター新生苑 リーダー 鍵 本 千 晴

デイサービスセンター新生苑では、玄関からお風呂場までの距離は約80mあり、普通に歩いても約1分半かかります。事務所から入浴への連絡や、入浴から看護師への連絡は内線電話を使用していました。しかし、内線をかけても話

し中であつたり、近くに看護師が居らず探したり、入浴に電話しても介助で手が離せない事がありましたが、また、事務所からホールスタッフの連絡を取りたい時も職員を探す時間が課題となっていました。そのような状況の中、インカムが導入されました。『ナース聞こえますか?○○さんの足に発赤があります。診てもらえますか?』また、『○○さんお風呂の順番ですかから声掛けお願ひます』などと、スタッフの声がイヤホンから聞こえてきて、襟元のマイクで答えます。対応するのはその時に担当する職員です。そして、最後に『入浴終わりました』『了解です』との合図で入浴の終わりも告げる事ができます。このインカム導入によって、電話をかける手間や待ち時間が減り、ご利用者から手や目を離さずに聞くことが出来るため安全面の配慮や業務の効率化にも繋がっています。



▲インカムの導入

# 「しんせい語録」の読み解き

新生グループには日めくりカレンダー「しんせい語録」があります。語録には介護現場で感じたことや学んだことへのピントが掲載されています。



## 当たり前のこと

### 専門性が潜んでいる



(株)新生メディカル  
池田営業所

水野君子

した表情に変わつていきます。  
こうして今日も「いやや、いや  
や」と言いながらも、晴れやかな  
表情でデイサービスへ行く事がで  
きました。

「おはようございます！今日は  
デイサービスですね。」「  
今日はえらいで行かへん」と  
布団をかぶつて目を開けられませ  
ん。急いでヒーターを点け、寝室  
を暖めます。着替えの衣類もヒー  
ターの前に置き暖めます。部屋が  
暖まり始めたころ、再び声掛け  
しますが起きられません。声掛け  
をしながら少しづつ足元の掛布  
団をめくつけていきます。下衣のみ  
先に着替え始めると、部屋の暖か  
さがわかり布団をかぶりながらも  
少しづつ動き始めます。

下衣の更衣が終わつた所で、ベッ  
ドから起き上がり上衣が始まり、  
食事、モーニングケアが終わると、  
迎えの時間を気にされながら自力  
で髭剃りがはじまり、生き生きと

私たちが普段当たり前に行つて  
いる外出の準備や食事、入浴、  
排泄などの日常生活が、少々億  
劫になつたり、介助が必要になつ  
たとき、どうしたらできるか、ど  
ういう声かけをしたら意欲が出  
るのかを工夫して考えていくこと  
が、私達介護職の専門性ではない  
かと思います。

その方法を考えるのも、ご利用  
者の性格や好み、思考等を理解  
していないとなかなか見つかりま  
せん。

利用者に向かい、利用者を  
知ることから介護の専門性は始ま  
ると思います。

今日もまた、ご利用者の新しい  
発見ができるのを楽しみに訪問  
します。

vol.23

# サンビレッジの仲間たち

サンビレッジ国際医療福祉専門学校 総学科長 廣瀬 武

き5年目を迎えます。

教員業務を行いながら気づいたことがあります。学生は一人ひとり特性が違い、それぞれに得手不得手があるということです。生まれ育つた環境の違いや今まで経験してきたことの違い、勉強の方法が違つたり、成長段階などが違つことが原因だと思います。そんな違いを沢山持つ学生たちに対し「〇〇しなくてはならない。私に合わせなさい。」という一律な教え方で教育を行つても、よい専門職を育てることはできません。それぞれが何に困つていて、何に躊躇しているのか、時には人生の先輩として一緒に悩み、考えることが大切です。また、何かを伝えるときは、その学生が一番理解できる言葉を探し、学生が「なるほど」と納得できる方法を探すことも非常に大切だと感じています。

実は教職員間でも同様の事がいえます。共に学校運営や教育活動、学生募集を行つていく教職員一人ひとりにも「違い」があり得手不得手があります。自分が関わる相手が、教職員であろうとも、学生であろうとも何も変わりません。その違いを認め、高め合つていくことが私たちにとって「壁を超える」こととなると思っています。様々な壁を超えて、チーム・サニビ校として一丸となつて挑戦する年にしたいと考えています。



▲H30年度 作業療法学科 国家試験激励会

# ひろどり

モンゴルの方々と交流会を行いました。煌びやかな衣装に皆さん釘付けでした。



# つむら

お正月明けにもやいの家津村で初釜とかかるた取りを楽しみました。



# ぎふ

健康経営宣言事業!  
G スタジオ  
(エアロビクス)  
「参加者募集中!」



# こうしゃのないがっこう

NPO 法人校舎のない学校 各地区的ライフセイバー活動の実践発表をされました。皆さんも是非仲間に加わりませんか?



# トピックス

# ひんせいえん



皆様のお越しをお待ちしております。

# ほづみ駅前

今年も金神社へ参拝が出来ました。  
良い年になりますように。



# ひろどり

明治時代より、地元白鳥区では白鳥神社春の例祭に奉燈狂俳を行っております。今年も白鳥スタッフがこの奉燈狂俳に投句しました。



# みずほ

おばあちゃんに報告に来ました。



家族ボランティアによる風呂敷包講座

